平成３０年　１２月２１日（金）　第８号　　吉川市立南中学校

学校教育目標

よりよく生きる

南中学校
電話　982－1066
さわやか相談室
電話　981－8749

学校だより

吉川市立南中学校

生徒数
第１学年　３０３名
第２学年　２８４名
第３学年　３１４名
計　９０１名

南中学校ホームページ
http://02.yoshikawa-ed.net/minami/

生きている幸せに感謝

校長　田口　弘

▲和楽器　箏の演奏　学校で様々なことを学べる幸せに感謝

12月になりました。この一年間たくさんの出来事があったと思います。楽しかったこと、嬉しかったこと、苦しかったことや腹が立ったこともあったでしょう。これらは、人間が生きている証であり感情です。

楽しかったことはもちろん、苦しかったことも全部含めて、1年間無事に生きてこられたこと、ただそのことに、まず、感謝しましょう。

地球が生まれて４６億年。私たちはその中で、ほんの一瞬、奇跡的に命をいただきました。生きることを許されたのです。しかも、今は、氷河期でもなければ戦国時代でもない、熱くもなく、寒くもなく、そして平和です。そのうえ、朝、暖かい布団で目が覚め、学校に行って様々なことを学べます。昼になれば、おいしい給食が食べられ、午後は運動や文化活動を楽しみ、家に帰って、テレビを見たり夕食を食べ、お風呂に入って眠る。この当たり前と思う日々を３６５日繰り返せたのです。

学校では、仲間がいて一緒に勉強し、歌ったり運動もします。時にはけんかをしたり、いがみ合うこともあるかもしれません。絶望的な気持ちになることもあります。家の人に叱られて、いやな気持になるかもしれません。しかし、それらは、時が過ぎ、皆さんが大人になると、良い経験だったと思える時がきっと来ます。

皆さんは、今この時を生きていることに感謝し、そして、楽しんでください。苦しいことや思い通りに行かないことは誰にでもつきまといます。しかし、そのすべては、生きるための栄養となり、何一つ無駄になりません。特に中学生のこの時期に体験することは、悲観や絶望でさえ、その後の人生の教訓となり役立つ日が来るのです。ですから、良いことも嫌なこともすべて吸収し、生きるエネルギーにしてしまいましょう。一年の締めくくりを迎えるにあたり、生きている幸せに感謝し、新しい年を迎えてほしい。

▲春に植え育てたサツマイモで焼き芋大会